

CA ARCserve Backup への組み込み方法

ARCserve Backup を起動し、バックアップマネージャーより、[バックアップ(B)]→[オプション(O)]を選択し、[実行前/後の処理]のタブを選択します。[ジョブの開始前に実行するコマンド]に、セキュアセブン暗号化バッチコマンドを記述したバッチファイルを設定し、[終了コード(X)]をチェックし、値を”0”に設定、[ジョブを即実行(I)]もチェックします。また、[前処理/後処理を実行するユーザ]は、管理者権限を持ったユーザを指定して下さい。

上記設定を行うことで、バックアップが実行される前に暗号化の処理が行われ、暗号化されたファイルがバックアップされます。

グローバル オプション

Alert	メディアのエクスポート	拡張	ボリューム シャドウ コピー サービス	暗号化/圧縮		
バックアップ メディア	検証	再試行	操作	実行前/後の処理	エージェント オプション	ジョブ ログ

以下のオプションは、バックアップ段階でのみ使用されます。

ジョブの開始前に実行するコマンド

ジョブの開始前に実行するファイル/アプリケーション名を入力(E):

 参照(B)...

終了コード(X):

ジョブを即実行(I)

ジョブをスキップ(S)

処理終了後のアプリケーションの実行をスキップ(P)

ジョブ開始までの待機時間 (ファイル/アプリケーションが処理を終えるために必要な時間):

遅延(D) 分

ジョブの終了後に実行するコマンド(A)

ジョブの終了後に実行するファイル/アプリケーション名を入力(A):

 参照(B)...

以下の場合コマンドを実行しない:

ジョブが失敗(E) ジョブが未完了(N) ジョブが完了(J)

前処理/後処理を実行するユーザ

ユーザ名(U)

パスワード(W):

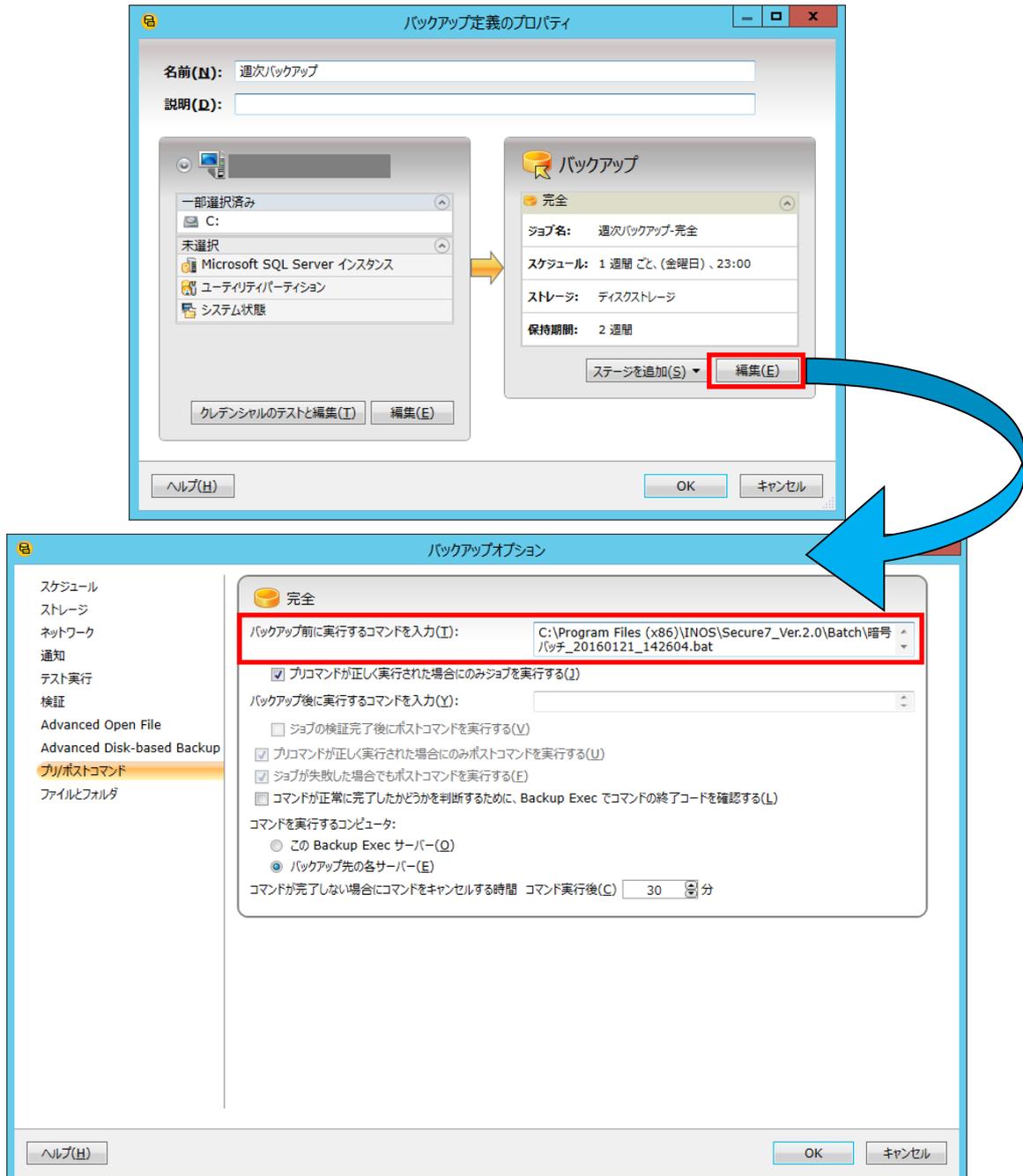
OK(O) キャンセル(C) ヘルプ

※上記は ARCserve Backup(r16.5) の画面です。設定画面はバージョンによって異なります。

Symantec Backup Exec への組み込み方法

Backup Exec を起動し、対象となるジョブのバックアップ定義のプロパティで、バックアップの[編集(E)]を選択します。バックアップオプションの左メニューより、[プリ/ポストコマンド]を選択し、[バックアップ前に実行するコマンドを入力(T)]に、セキュアセブンを暗号化バッチコマンドを記述したバッチファイル名を設定して下さい。

上記設定を行うことで、バックアップが実行される前に暗号化の処理が行われ、暗号化されたファイルがバックアップされます。

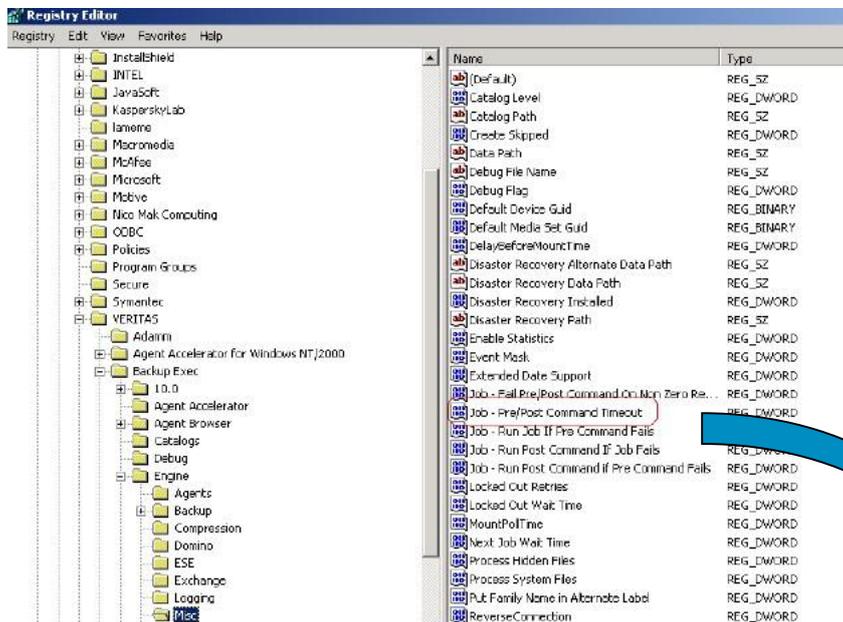


※上記は Backup Exec 15 の画面です。設定画面はバージョンによって異なります。

※Backup Exec についての補足情報

Backup Exec では、「バックアップ前に実行」のコマンドが 30 分経過しても終了しなかった場合、ジョブが保留にされてしまいます。バージョン 9.x 以降では、設定画面にて上記時間を 1~300 分の範囲で変更可能ですが、それ以前のバージョンでは設定画面自体がありません。その場合、レジストリを変更する事により、上記の値を変える事が可能です。レジストリの変更手順は下記の通りです。

1. Backup Exec を終了して下さい。
2. 「コントロールパネル(C)」→「サービス」を選択し、全ての Backup Exec のサービスを停止して下さい。
3. スタートボタンから「ファイルを指定して実行(R)」を選択し、「REGEDIT」と入力して OK ボタンを押して下さい。
4. レジストリエディタが起動しますので、以下のキーを開いて下さい。
/HKEY_LOCAL_MACHINE/SOFTWARE/VERITAS/Backup Exec/Engine/Misc/
5. **Job - Pre/Post Command Timeout** を開き、1~300 の間で値を変更して下さい。
6. レジストリエディタを終了して下さい。
7. 「コントロールパネル(C)」→「サービス」を選択し、全ての Backup Exec のサービスを開始して下さい。



バックアップ専用ソフトとテープ装置が無い場合のバッチ時間指定組込み方法

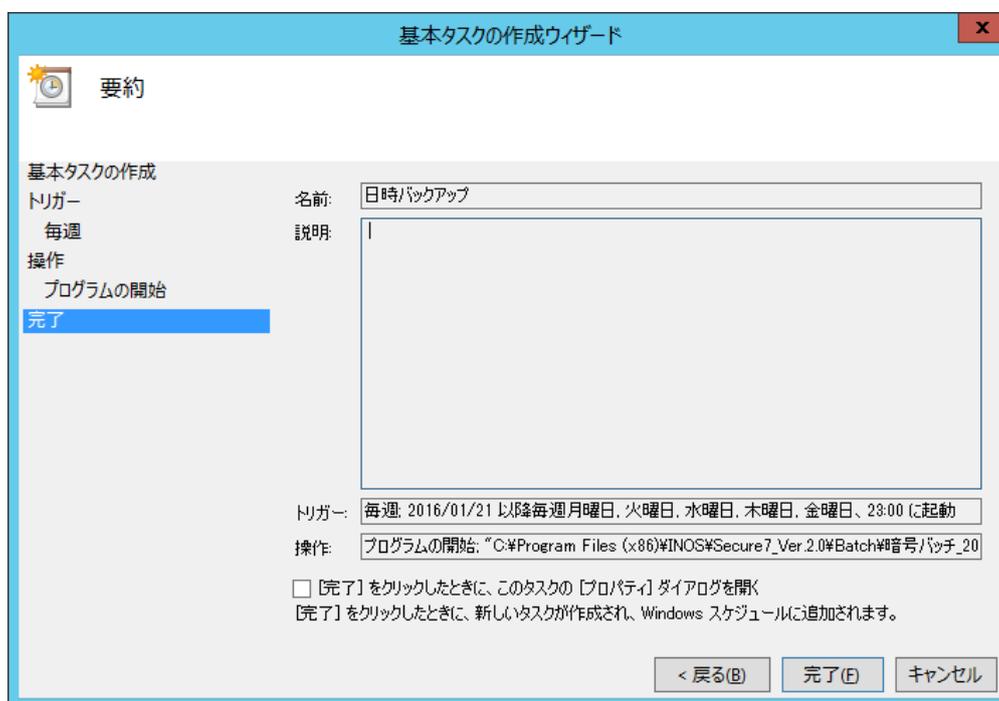
セキュアセブンの暗号化バッチコマンドを記述したバッチファイルを作成して下さい。

暗号化バッチコマンドを自分で記述する場合は、メモ帳等のテキストエディタを起動し、バッチコマンド記述後、任意のファイル名を付けて保存して下さい。その際、拡張子は「.bat」にする必要があります。

作成したバッチファイルを、Windows のタスク機能を使用してスケジューリングします。スケジューリング作成は、管理者権限を持ったユーザで行って下さい。

タスクスケジューリングの方法は下記の手順に従って下さい。

1. [コントロールパネル] → [管理ツール] → [タスク スケジューラ] を選択。
2. メニューの[操作(A)] → [基本タスクの作成(B)] を選択。
3. 作成するタスク名を入力して下さい。
4. [毎週(W)] を選択して下さい。
5. バッチファイルを実行する時刻・曜日等を指定して下さい。
6. [プログラムの開始(T)] を選択して下さい。
7. [プログラム/スクリプト(P)] で実行する暗号化バッチファイルを指定して下さい。
8. 以上で設定完了です。



指定した時間に指定したフォルダ(またはファイル)の暗号化が行われます。

暗号先に外付ハードディスクなどを指定しておけば、バックアップの代りになります。

※暗号化バッチコマンドについての詳細は、セキュアセブンの取扱説明書を参照して下さい。